

平成30年12月21日

第129号

# 八代高校・八代中学校PTA会報

<http://www.yatsushirohighschool.com/>



▲ホームページ QRコード

特集1

鳳雛祭～魁～

さきがけ

体育の部  
文化の部

特集2

八代中学校創立  
10周年記念式典

特集3

PTA活動





# しょうらんが 煌蘭華

特集1

# ほうりんが 鳳雛祭 ～体育の部①～



煌華燎零  
せいかりようれい

# こうりんが 翺麟華



天尊高麗  
てんそんこうらい



# 蒼颯華



百花繚乱  
ひゃっかりょうらん

# 剛鸞氣



金碧輝煌  
きんぺききこう









九月十日(月) 八代高校・八代中学校、鳳雛祭「体育の部」が開催されました。

九日(日)に開催される予定でしたが雨のため、一日順延での開催でした。前日までの雨が嘘のように天気にも恵まれ、躍動する生徒たちの姿を平日にもかかわらずたくさん保護者に見ていただきました。高校三年生にとっては思い出に残る最後の体育祭になったことと思います。

最後に暑い中、一日中撮影していただいた広報委員の皆様ありがとうございます。

広報委員長 米村 和歌子











八代中学校 創立10周年 記念  
**ひのくに高等支援学校 工芸科制作**  
**テーブル贈呈式**



このたび、八代中学校創立10周年を記念して「ひのくに高等支援学校 工芸科」の生徒さんに依頼しまして素晴らしいテーブルを作成していただきました。9月16日に贈呈式が行われました。

副会長 北村 優子



**PTA 食バザーお礼**

九月十六日(日) 校舎中庭にて、鳳雛祭文化の部「食バザー」が開催されました。今回、昨年の台風で中止となった「八喜そば」が、「豚もやし焼きそば」として復活。そして、たくさんの方から「美味しい」とのお言葉を頂きました。当日は天気にも恵まれ、出店のある中庭は多くの人達で賑わい、PTAの食バザーも完売するほど大盛況でした。そして何より、子ども達の笑顔がたくさん見ることができ大変嬉しく思いました。こうして今年も無事、食バザーを終える事が出来ましたのも、チケット集計や前日の準備、そして当日の販売のお手伝い・後片付け等に多大なるご協力とご尽力してくださったPTA役員並びに保護者の皆様のお陰です。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



特集2

八代中学校  
創立10周年記念式典

10月26日

誓いの言葉

熊本県立八代中学校  
生徒自治会長 山口 凌



日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。本日、ここに、熊本県立八代中学校創立十周年記念式典が開催されるにあたり、多数のご来賓の皆様と共に参列できましたことを誠に嬉しく思います。八代中学校が誕生してから今日に至るまでの歩みに思いを馳せると、本校が今日という日を迎えることができたのが、ご来場の皆様をはじめ、多くの皆様のご支援の賜物であるということを感じています。この場で改めて実感していま



す。それと同時に、これからの八代中学校をこれまで以上のものにしていかねければならないという責任の重さも感じています。

今日、日本だけでなく世界中で台風や地震、火山噴火などさまざまな巨大災害が発生し、改めて「命」や「あたりまえの大切さ」について考えさせられています。私たちが本校に入學してすぐ、熊本地震が発生し、多くの尊い命が失われ、今も

なお苦しい思いをしている方々がいらっしやいます。ここにいる私たちは一日一日を有意義にそして充実した日々にし、一生懸命生きていかなければなりません。それが私たちに与えられた使命だと思っています。どのように「一生懸命生きていく」のかを考えたとき、幕末の思想家吉田松陰の言葉思い出しました。それは、「学問とは、人間はいかに生きていくべきかを学ぶものだ」というものです。私は今まで学問についてどのように深く考えたことはありませんでした。しかしよくよく考えてみると、私たちが日々あたりまえのように学んでいることが統合されて自己を作り上げていくことで、進むべき「道」が見えてくるのではないのでしょうか。学校で友と切磋琢磨しながら学べること、これはとても幸せなことなのだと思います。この道に向き、熊本地震の復興に向け、学問の成果を活かし、私たちの力を発揮していかねばならないと思います。

平成という一つの時代の終わりまで残り半年と数日になりました。この平成という時代は、文明も進化し、人々の生活が大きく変化した時代だといえます。そのような時代を経験し、その終わりに立ち会う私たちは、新たな時代への飛躍を自ら行える存在でなければなりません。

これからも世界は怒濤の勢いで進んでいきます。避けては通ることのできない困難も多くあると思います

が、可能性〇パーセントと思われていたものが次々と実現していく時代です。〇パーセントの可能性を一パーセントの可能性に変える力、一パーセントの可能性をより高める力といたったような「時代」に対応した変革、これが私たちに求められているものだと思います。学問を通じて自問自答を繰り返しながら、私たちは自らのアイデンティティーを発見

発揮し、日本の原動力となり、舵取りを担っていく所存です。そのような日本の息吹を作り出す人間となるための環境が、ここ八代中学校にはあると思います。その環境を十二分に活用し、我々が在校生一同、これからもたくさんの方々への感謝を忘れず、八代中学校のさらなる発展に努めますことをお誓いしまして生徒代表挨拶いたします。

平成三十年十月二十六日



八代中学校創立  
10周年記念  
植樹祭

11月26日



特集3 P T A 活動

7月21日 八高・八代中 P T A 親睦球技大会

保健体育委員長 平田 太一

七月二十一日、第一体育館にてビーチボールバレー大会を開催しました。連日猛暑が続いていましたが、熱中症や怪我の発生も無く、笑い声や歓声が起きる楽しい雰囲気で開催することができました。先生方と保護者の方々と十チームを編成し、二つのリーグ戦と順位決定戦を行った結果、高校二年四・五・六組合同チームが優勝しました。球技大会及び、夜からの親睦会にご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。



7月28日 城南地区 P T A 親睦ビーチボールバレー大会

保健体育委員長 平田 太一

今年度は、七月二十八日に芦北高校で開催されました。八代地区の人権集会と日程が重なってしまったため、八代高校からは保健体育委員長を中心とした十二名の一チームで参加しました。十一の高校による十七チームが参加した中で予選の二試合を行い、一試合目は球

磨工高校に負けてしまい、二試合目に八代東高校に勝利したものの一勝一敗で予選敗退となりました。優勝は、一試合目で対戦した球磨工高校でした。芦北高校まで駆けつけてご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



8月20日・21日 第68回 全国高等学校 P T A 連合会大会

P T A 会長 今田 史昭

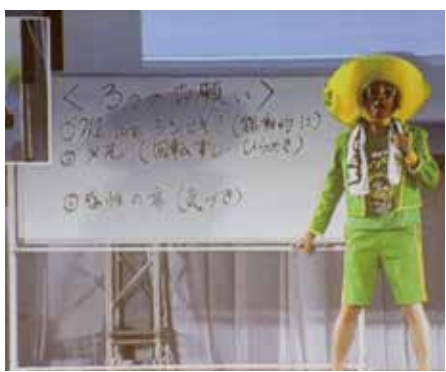
八月二十日、二十一日の二日間、第六十八回全国高等学校 P T A 連合会大会佐賀大会が行われました。



今年度は佐賀県全域を会場とし、「広めよう 高めよう 慈しむ心」をメインテーマに掲げ、幕末から明治時代を生き抜いた佐賀の偉人達の考えや教え(慈しむ心)を忘れることなく、私達 P T A も希望の明日を作っていくための大いなる一歩を踏み出す大会にしたいという思いを込めた全国大会でした。私は、唐津市を会場にした第二分科会(進路指導と

P T A と学校と保護者が協働するキャリア教育)に参加してきました。文科省からは「現在、高大接続改革を推進中で、二〇二〇年からの新入試制度や二〇二二年からの十八歳成人が開始されるにあたり、P T A と協力して問題点を改善していきたい。」とお話しになりました。佐賀県知事からは「今の子供達には『志』が大事」だと伝えたい。とのことでした。

基調講演では、「レモンさんのビタミントーク!」慈しみの愛言葉! We are シンセキ!」と題し、大阪大学の講師でラジオDJでもあるレモンさん(山本シュウさん)からの軽快なトークがあり、話術に引き込まれ、話される内容も同年代でもあり共感が持てました。





10月4日  
校外研修

研修委員長 山内健二

十月四日、研修委員会のメインイベント「校外研修」を行いました。今年度は福岡の名門修猷館高校と、この十月に伊都キャンパスへの移転が完了した九州大学を研修するコースでした。

修猷館高校は一七八四年(天明四年)黒田藩の藩校として開校した創立二百三十二年の超伝統校です。なんと、五年間で東大に六十七名、九大に六百五十名も合格者を出す凄い学校です。



副館長(副校長)先生のお話を聞いてまず驚いたことは、修猷館高校には明確な校則がないということでした。学校生活は生徒の自主性が重んじられ、服装の乱れなどがあれば、先生より先に生徒同士が注意しあい、時には校庭で自主的に生徒総会が開かれるそうです。

「プレハブ」と呼ばれる生徒会室には「生徒以外立ち入り禁止」と堂々と書いてありました。勉強ばかりしているのかなと勝手に思っていました。磨く伝統ある行事」として、大運動会(九月)、大文化祭(三月)は、生徒運営委員会が企画運営し盛大に行われるそうです。「個性を育てる多彩な部活動」は体育、文化ともに多数全国大会に出場しているそうです。また、学校敷地内に美術館を思わせる「修猷資料館」があり、多才な卒業生の書や絵画が展示され、修猷館高校の二百三十年の歴史を学ぶことができました。今どき、運動会の種目に上半身裸でピラミッドや騎馬戦がある



あたり、私には型破りな高校と感じました。その後、九州大学伊都キャンパスに移動し、工学部二年の学生ボランティアさんの案内で十月一日にOPENしたばかりの中央図書館や椎木講堂を見学しました。帰り際、広大な学内をバスで回りましたが、この素晴らしい環境で一人でも多くの八高生が学んでくれたなからと思った次第です。最後に大宰府天満宮に参拝し、合格祈願と学業成就を祈願して帰ってきました。

10月5日  
P T A 主催  
教育講演会

P T A 会長 今田史昭

十月五日(金)に教育講演会を開催しました。

今年度は「がん教育」。村上美香さんを講師に招き、「カラダとココロの話をしませんか?」と題し、性教育の話から子宮頸がんの話まで、「がん」の怖さ、若いうちから検査を怠らず、正確な知識を持つことと意識を高めることを女性はもちろんのこと、男性にも語りかけてくれました。



生徒達みんな、しっかり話を聞いていました。子供達の感想にも、「周囲の人に感謝の言葉を伝えることが大切さを改めて感じる事ができた。」とありました。子供達のための素晴らしい教育講演会になりました。





11月4日  
城南地区PTA  
指導者研究大会

平成三十年度「熊本県公立  
高等学校城南地区PTA指  
導者研究大会」に参加して

PTA会長 今田 史昭

十一月四日(日)に熊本県立南稜高校において、PTA本来のあり方について、会員の理解を深め、社会教育団体としての会員相互の学習、その他活動が活発に行われるよう、指導者の育成を目的として、本研究大会が開催されました。

今年、東海大学の片岡正実様を講師に招き、「私達はどんな時代を生きているのか?」子ども達はこれからどんな時代を生きていくのか?と題し、御講演がありました。

生き抜いていくための知恵を子供達には身につけてほしい。と「生き抜く知恵く五箇条」を提言されました。

- 一. けっしてあきらめない
  - 二. 自分で決める
  - 三. 想像力を身につける
  - 四. 何事にも挑戦する
  - 五. 何でも食う
- 保護者の皆様、お子様にはこの五箇条を身につけさ



せるように頑張っていきたいと思います。人に対する思いやりを持つこと、本人の気持ち次第で変われること、子供達の判断力はまだまだ劣っている、大人がしっかりと伝え、導いてあげましょう。と閉められました。

水俣高校PTAからは「地域に愛される」水俣高校」を目指して」水高って、実は、こんなにもスゴいんです」として、水俣市長が「水俣市立水俣高校」の気持ちを持って水俣地域全体で支えます。と施策方針を掲げているとこのことで、地域(Community コミュニティ)の協力が全面的になされていきました。そこでPTA活動にPT(C)Aの取組が盛り込まれていきました。

最後に、熊本県教育庁教育総務局社会教育課長 井芹護利様から、PTAは地域と学校の要です。時代を生き抜く力を地域と学校と協働で子供達に与えてもらいたい。そして、自己有用感をもたせ、がんばる力(あきらめない力)を身につけさせるように子供達を育ててもらいたい。と、講評を述べられました。

12月1日  
親の学びプログラム

研修委員長 山内 健二

十二月一日、研修委員会主催のくまもと「親の学びプログラム」講座とクリスマススワッグ作り教室を行



いました。

第一部のくまもと「親の学び」プログラム講座には、八代教育事務所の福田高志先生に講師に来ていただき、子育てについて、いろんなゲームをとりいれながら楽しくおしゃべりして子育てのヒントを見つけることができましたように思います。決して講師の先生がこんなふうにしなないとダメですよという押し付けがないのもいいと思います。

第二部は甲佐町のMoreFlower+の村上光治さんと遠山悦子さんに講師をお願いし、クリスマススワッグ作りを体験しました。あーでもない、こーでもないとし悪戦苦闘しましたが、何とかそれなりに素敵なクリスマススワッグが完成しました。

参加いただいた皆さんありがとうございました。





# 祭見妙 八高同窓会 飾馬奉納

11月23日祝

十一月二十三日祝、八代高校同窓会飾馬奉納の皆様と八代妙見祭に参加してきました。学校職員六名、中学生四名、高校生四名、PTA役員二名(他に各団体に何人も参加)で八代の伝統祭りを堪能してきました。当日は寒かったですが、元気に花馬奉納をしてきました。

